



農業平成史 激動、次代へのつなぐ三十年

1989年1月に始まった「平成」が終わり、5月1日から新元号「令和」となりました。今月は特別企画として、JAや農業の大きな転換期となった「平成」を振り返ります。

平成元年(1989年) 1月 昭和天皇崩御。元号が「平成」に改まる

4月 消費税3%が導入される

5月 東京都中央卸売市場大田市場が開場

10月 第12回秋田県種苗交換会が秋田市で開催

平成2年(1990年) 2月 大嘗祭に使う新米を作る「悠紀の国」に秋田県が選ばれる

6月 秋田市農協と秋田市新屋町農協が合併

7月 秋田県産「あきたこまち」の類昇格が決定

8月 全国各地で「人面」ブーム。若美町でも「人面メロン」が穫れたと話題に

10月 コメ入札取引スタート

平成3年(1991年) 4月 牛肉・オレジン自由化

9月 台風19号が秋田県を直撃。最大瞬間風速51・4メートルを記録し、各地に甚大な被害を残す

平成4年(1992年) 4月 農協の新愛称「JA」と「Jマーク」の使用が始まる

平成5年(1993年) 4月 JA雄和町とJA大正寺が合併しJAゆうわが発足

7月 北海道南西沖でM7.8の地震、津波が発生

9月 JA琴浜とJA払戸が合併しJAわかみが発足

冷夏による凶作で水稻の作況指数が74となる。政府は米の緊急輸入を決定

12月 白神山地の「世界自然遺産」登録が決定

ガット・ウルグアイラウンド合意。米輸入部分自由化が決定

平成6年(1994年) 12月 世界貿易機関(WTO)設立協定案と新食糧法案を国会承認。食管法の廃止が決まる

平成7年(1995年) 1月 阪神淡路大震災発生

4月 JA秋田市・JA追分・JA秋田市仁井田が合併

平成8年(1996年) 7月 病原性大腸菌「O157」が全国各地で発生

平成9年(1997年) 4月 消費税が5%に増税

11月 男鹿市で第120回秋田県種苗交換会が開催

平成10年(1998年) 10月 JAの金融部門の愛称が「JA貯金」から「JAバンク」へ



3月 男鹿市と若美町、南秋田郡天王町・飯田川町・昭和町(現・潟上市)が合併

4月 個人情報保護法施行

10月 経営所得安定対策等大綱決定

11月 産地直売所「百縁畑」リニューアルオープン

12月 88年ぶりの記録的豪雪。家屋や施設に甚大な被害

平成18年(2006年) 3月 (有)新あきたファーマーズ設立

5月 残留農薬のポジティブリスト制度スタート

11月 第129回秋田県種苗交換会が潟上市で開催

平成19年(2007年) 12月 食品偽装や年金記録汚職事件などの問題が多発。今年の漢字に「偽」が選ばれる

平成20年(2008年) 6月 JA新あきた西支店・現・新屋駅前支店・移転オープン

9月 世界規模の金融危機リーマン・ショックが発生

平成21年(2009年) 6月 改正農地法成立

9月 消費者庁が発足

10月 秋田市で第132回秋田県種苗交換会を開催

平成22年(2010年) 7月 直売所「いぶきの里」オープン

10月 菅直人首相が環太平洋連携協定(TPP)交渉への参加検討を表明

平成23年(2011年) 3月 11日14時46分、東日本大震災発生。マグニチュード9.0の未曾有の大災害、被災地へ義援米を発送

7月 九州北部で記録的豪雨

10月 JA新あきた東支店・現・秋田駅東支店・移転オープン

平成24年(2012年) 1月 国連の「国際協同組合年」が始まる

平成25年(2013年) 3月 安倍晋三首相がTPP交渉参加を表明

12月 和食がユネスコ世界無形文化遺産に登録

平成26年(2014年) 4月 農地中間管理機構(農地集積バンク)関連法が成立

8月 消費税が5%から8%へ

10月 四国地方を中心に台風12号の豪雨被害、広島市北部で土砂災害

平成27年(2015年) 6月 第137回秋田県種苗交換会が男鹿市で開催

12月 直売所「あぐりんなかいち」オープン

地理的表示(GI)保護制度スタート

